

第 19 回 名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）対策協議会 議事録

- ・日 時：平成 28 年 10 月 24 日（月）午後 2 時～午後 2 時 45 分
- ・場 所：西尾市役所 41 会議室
- ・出席者：（自治体）西尾市 小島副市長
蒲郡市 井澤副市長
愛知県振興部交通対策課 中川課長
（オブザーバー）中部運輸局鉄道部監理課 小河原課長
名古屋鉄道株式会社計画部 坂本部長

[発言要旨]

1 開 会

（会長：西尾市）

- ・本日の総会は、西尾市・蒲郡市と名鉄の間で交わされた確認書に基づく平成 27 年度の名鉄西尾・蒲郡線の事業実績と利用促進実施計画の報告がある。

2 報告事項

（1）平成 27 年度名鉄西尾・蒲郡線の概況について

（名鉄）

- ・資料「西尾・蒲郡線の概況」に基づいて説明

（2）「にしがま線げんき戦略 —名鉄西尾・蒲郡線活性化実施計画—」について

（事務局：西尾市地域支援協働課）

- ・資料「にしがま線げんき戦略」に基づいて説明

3 その他

（蒲郡市）

- ・「にしがま線げんき戦略」による毎年 2%アップということで、大変厳しい数値ではあるが、このくらいの数値をクリアしていかないと安定して存続することはできないと思っている。
- ・名鉄西尾・蒲郡線を軸にした施策を市内の店舗にも活動を働きかけていきたい。

（名鉄）

- ・平成 27 年度は名鉄全線で輸送人員が増加し、西尾・蒲郡線でも増加したものの、経常収支は依然大幅な赤字が続いている。
- ・今年の 11 月 10 日には、蒲郡線が全線開通して 80 周年を迎えるため、11 月から 12 月にかけて沿線ハイキングの常設コースを蒲郡線沿線で 2 コース設定した。また、11 月 10 日から約 1 ヶ月間、イラスト系統板を掲出した列車を運行する。

- ・引き続き安全輸送を最優先として、地域の生活の足を守るとともに利用促進にできる限り協力していく。地域の皆様にも更なる利用促進策の実施や沿線の活性化に取り組んでいただきたい。

(中部運輸局)

- ・平成 16 年度当時からこの存続問題に携わっていた。沿線自治体と住民、名鉄が協力し現在は良い傾向にある。
- ・地域鉄道は全国に 96 者あり、この内中部運輸局管内には 20 者ある。どこの鉄道会社も経営状態は厳しく沿線地域の支援・協力が必要である。公共交通ネットワーク形成に関する調査会議の中で、西尾・蒲郡線の利用促進等を好事例として全国で紹介していきたいと話題になった。今後協力依頼があると思うので、よろしくお願ひしたい。

(愛知県)

- ・平成 27 年度の利用者数は、平成 26 年度に比べ 5%伸びてきており、地元の方々の色々な取組の中で伸びていると考えている。しかしながら、依然として名鉄西尾・蒲郡線の経営は厳しい状況にある。
- ・その中で、「にしがま線げんき戦略」の説明があったが、市外県外から人を呼び込む来訪者の視点である観光戦略は欠かせないものである。地域を挙げての活動にできる限り協力したい。

(西尾市)

- ・名鉄西尾・蒲郡線は、公共交通の基軸を成し、その存続問題はまちづくりにも及ぶ重要課題の一つであり、運行存続と沿線地域の振興・発展は一体的なものであると認識している。
- ・名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会が策定した「にしがま線げんき戦略」の誘客推進専門部会の設置が進められ、県の交通及び観光部門からも人的支援をいただき、大変心強く感じており期待している。

(以 上)